

# 目次

はじめに 本書を手にした皆さんへ

立命館憲章

立命館大学学生育成目標

立命館の歴史

## 第1部 立命館大学での学び

### 第1章 大学で学ぶということ

大学での学びとは何か	仲谷善雄(学長)	14
主体的に学ぶ、他者と学ぶ、学びのコミュニティをつくる	高橋直人(法学部)	16
なぜ大学での学びを、高校までの学びとは「違う」と感じてしまうのでしょうか？	大川隆夫(経済学部)	20
立命館で学ぶということ	前田信彦(産業社会学部)	22
正しい判断基準と行動基準を培うために	北原亮(薬学部)	24
理系学部で自分の将来を創ろう	永井清(理工学部)	26

### 第2章 立命館大学の学びの特色

大学における「学び」(課外・自主活動・学生生活)	長澤克重(産業社会学部)	28
立命館大学の学びの仕組みとピア・サポート	春日井敏之 (教職研究科)	30
正課外での学び / 地域を学びの場とした活動 / サービスラーニング	木下明浩(経営学部)	34
<b>コラム</b> 夢をかなえる「学びの立命館モデル」関連奨学金	真田樹義 (スポーツ健康科学部)	38
<b>コラム</b> 他者とともに学ぶサービスラーニング	山口洋典 (共通教育推進機構)	40
グローバル化した社会における教育・研究	山下範久 (グローバル教養学部)	42
<b>コラム</b> 他者との出会いから創造する学び—立命館大学の国際化	羽谷沙織 (国際教育推進機構)	46
大学院での学び	市木敦之(理工学部)	48
立命館大学における研究	岡田豊(生命科学部)	50

### 第3章 立命館学園の歴史・学園づくり

草創期から戦前までの立命館	小関素明(文学部)	54
<b>コラム</b> 植民地との学生交流と野球部の遠征	河原典史(文学部)	58
<b>コラム</b> 京大事件と立命館	倉田玲(法科大学院)	60
戦後の立命館大学の歩みと大学創造への学生・教職員の参加	中村正(産業社会学部)	62
<b>コラム</b> 全学協議会と学生・教職員の参加	平岡和久(政策科学部)	66
<b>コラム</b> 「主体性」を持って「今」を生きるが未来を拓く	山岸真綸 (学友会中央常任委員会)	68
キャンパスづくり・キャンパス創造・APU開学	薬師寺公夫(法科大学院)	70
<b>コラム</b> R2020と立命館大学のキャンパス創造	建山和由(理工学部)	76
<b>コラム</b> 人権と立命館の歴史を辿って—京都を歩く		78

**コラム** 立命館大学に残る学園の足跡を訪ねて ..... 80

**コラム** びわこ・くさつキャンパス開学と発展 ..... 82

**コラム** キャンパス全体をラーニング・プレイスに いつでも、どこでも、誰とでも、学び、学びあえる…  
国際社会と平和、ミュージアムの役割と未来・わだつみ像 ..... 薬師寺公夫(法科大学院) 86

**コラム** ここがみどころフィールドマップ in 国際平和ミュージアム ..... 90

**コラム** 「わだつみ像」について－戦没学生記念像 ..... 92

第4章 総合大学における学びへのアプローチ

法律の限界を考えるのも法学 ..... 倉田玲(法科大学院) 94

決して当たり前ではない「当たり前」－「記念日」から読み解く「常識」の社会学  
..... 福間良明(産業社会学部) 96

無関心という「暴力」と闘う国際関係学 ..... 本名純(国際関係学部) 98

花を愛でるとのこと ..... 井上充幸(文学部) 100

日本のポップカルチャー外交と映像産業の競争力 ..... 中村彰憲(映像学部) 102

経済学を学んで何がわかるのか ..... 松尾匡(経済学部) 104

スポーツと健康を科学する ..... 山浦一保  
(スポーツ健康科学部) 106

食マネジメント学部の学び ..... 朝倉敏夫  
(食マネジメント学部) 108

理工学部の学び－持続可能な未来創造に向けて ..... 笠原健一(理工学部) 110

社会で活躍できる情報技術者になる ..... 山下洋一(情報理工学部) 112

生命科学部の学び－分子と物質・生命 ..... 岡田豊(生命科学部) 114

医療における薬学の位置づけと薬学部での意義や学びの特色 ..... 浅野真司(薬学部) 116

新しい現実を創発する経営学の学び ..... 吉田満梨(経営学部) 118

政策科学における PBL <新成人からお世話になった方へ、感謝を込めて生菓子>を贈る新習慣を広めよ  
..... 服部利幸(政策科学部) 120

総合心理学部の学び ..... 安田裕子(総合心理学部) 122

グローバル化する社会で求められる教養の力と対話・コミュニケーション力  
..... 金山勉  
(グローバル教養学部) 124

第2部 自己理解、他者理解、そして社会の一員へ

第1章 自己形成

「わたし」を知ろう－大人になるということ ..... 川那部隆司(文学部) 130

なりたい自分になる－自律と自立 ..... ヒューバート眞由美  
(学生オフィス・障害学生支援室) 132

大学生のこことからだ－青年期の悩み ..... 徳田完二  
(人間科学研究科) 134

「健康的な生活習慣」を身につけよう ..... 中川克(保健センター) 136

第2章 他者とつながる

人とつながる－他者とのコミュニケーション ..... 山浦一保  
(スポーツ健康科学部) 140

多様なつながり－恋愛とジェンダー ..... 村本邦子  
(人間科学研究科) 142

異文化理解のためのコミュニケーションー多文化共生を目指す社会の一員として .....	堀江未来 (国際教育推進機構)	144
その恋愛って楽しい?ー人とかかわることの素晴らしさと難しさ.....	斎藤真緒(産業社会学部)	146
「大人として」心身を守るー多様な機会と大学生活.....	片山愛 (学生オフィス・障害学生支援室)	148

### 第3章 社会をつくる

ルールと付き合い、モラルを創る.....	神藤貴昭(教職研究科)	152
多様性・包含性・参画ー違いを受け入れて生きる.....	米山裕(文学部)	154
情報ネットワーク社会でのわたしたち.....	西浦敬信(情報理工学部)	156
「キャリア」について考えるー今できること.....	中川洋子 (共通教育推進機構)	158
主権者として「未来を拓く」.....	植松健一(法学部)	160
<b>コラム</b> 裁判員になるということ.....	渡辺千原(法学部)	162

#### 資料

日本国憲法(抜粋).....	166
教育基本法(抜粋).....	167
世界人権宣言(抜粋).....	169
国際人権規約(抜粋).....	169
立命館大学全学協議会会則.....	170
立命館スポーツ宣言.....	171
学園歌.....	173